

# 第33回2026年度 瀬戸内海研究フォーラム in 京都

(案)

# 流域圏と瀬戸内海

9月3日(木)・4日(金)

京都大学 国際科学イノベーション棟5階  
HORIBAシンポジウムホール

ポスター展示: HORIBAシンポジウムホール ホワイエ  
懇親会(9月3日18:40-20:00): カフェレストラン カンフォーラ  
吉田キャンパス本部構内正門前

**無料**【事前申込制】※懇親会は有料(一般5,000円、学生2,000円)



瀬戸内海的环境を考える際には、海域そのものだけでなく、そこへつながる河川、湖沼、森林、農地、都市域を含む「流域圏」を一体として捉える視点が重要です。流域圏における自然環境や人間活動の変化は、水や物質の循環、生態系の構造、地域社会の営みを通じて、瀬戸内海的环境と深く関わっています。今回のフォーラムでは、「流域圏と瀬戸内海」を総合テーマに掲げ、豊かな生態系・環境の創造、安全・安心な環境の確保、さらには地域社会との関わりをめぐる諸課題について、多面的に議論します。流域から海へと至る連環を見据えつつ、現状の把握、課題の共有、今後の展望について、研究、行政、地域実践の各側面から知見を持ち寄り、これからの環境のあり方をともに考える機会とします。

主催: (特非)瀬戸内海研究会議 協賛: (公社)瀬戸内海環境保全協会  
共催(予定): 瀬戸内海環境保全知事・市長会議、瀬戸内海水環境研会議、京都大学流域圏総合環境質研究センター、  
京都大学生態学研究センター、滋賀県琵琶湖環境科学研究所、総合地球科学研究所、ほか  
後援(予定): 環境省、京都府、京都市、京都大学

## 申込方法

1)~5)の事項を明記し、右記申込先の①または②のいずれかへ送信してください。

- 1)氏名 / ふりがな
- 2)所属名
- 3)参加日 [ 9/3・懇親会・9/4 ]
- 4)連絡先 [ メールアドレス ]
- 5)所属先またはお住まいの都道府県名

申込期限  
フォーラム 8月31日(月)まで  
懇親会 8月20日(木)まで

申込先

①Googleフォーム  
URL [準備中]

②E-mail [web@seto.or.jp](mailto:web@seto.or.jp)

QR

[準備中]

↑Google↑  
フォーム

問合せ先

特定非営利活動法人 瀬戸内海研究会議

〒651-0073

神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2

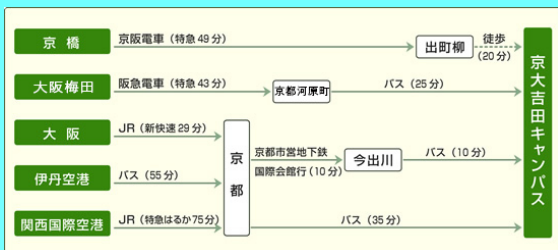
人と防災未来センター東館5階 (公社)瀬戸内海環境協会内

TEL 078-241-7720 E-mail [web@seto.or.jp](mailto:web@seto.or.jp)

## 会場へのアクセス

京阪「出町柳」駅より徒歩 約20分  
阪急「京都河原町」駅よりバス 約25分  
JR・近鉄「京都」駅よりバス 約35分

アクセス  
<https://www.kyoto-u.ac.jp/ia/access/campus/yoshida/map6r-y>  
各駅バス乗り場案内(PDF)  
[yoshida4](#)



京都大学吉田キャンパス本部構内図

# 第33回2026年度 瀬戸内海研究フォーラム in 京都

9/3

木

プログラム

(案)

13:00-13:20

開会式

13:25-13:45

瀬戸内海における水環境政策  
～きれいで豊かな海の実現に向けて～

西川 絢子

環境省 水・大気環境局海洋環境課  
海域環境管理室長

## 第1セッション 水域の物質循環と豊かな生態系保全に向けた取り組み

13:55-14:00

趣旨説明

中野 伸一

京大大学生態学研究センター 教授

14:00-14:22

質疑応答14:22-14:28

ため池のかいぼりによる栄養塩類供給  
の効果について(仮題)

鈴木 元治

兵庫県環境研究センター

14:30-14:52

質疑応答14:52-14:58

琵琶湖の硝酸塩動態を支える表水層に  
おける硝化の役割(仮題)

蔣 夢琦

京大大学生態学研究センター 研究員

15:00-15:22

質疑応答15:22-15:28

琵琶湖の水質保全と生物資源保全は両立でき  
るのか?～モデルを用いて琵琶湖の「健全さ」を  
測る新たな指標を探る～

佐藤 祐一

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター

15:30-15:45

総合討論

## 第2セッション 瀬戸内海と周辺地域の環境・経済・社会に関する研究活動報告

15:55-16:00

趣旨説明

浅田 安廣

京都大学大学院工学研究科 准教授

16:00-16:45

1人1分によるポスター概要発表

16:50-17:50

ポスター前発表 [ポスター掲示会場(ホワイエ)]

・16:50-17:20 奇数番号ポスター ・17:20-17:50 偶数番号ポスター

17:55-18:25

瀬戸内海研究会議 総会 (会員対象)

18:40-20:00

懇親会 [カエルストラシ カンフォーラ]

9/4

金

プログラム

## 第3セッション 流域圏における安全・安心な環境創造

09:30-09:35

趣旨説明

林 東範

京都大学大学院工学研究科 助教

09:35-09:57

質疑応答09:57-10:03

ワンヘルスの観点から見た水圏の薬剤  
耐性モニタリングの必要性和展望

本多 了

金沢大学 教授

10:05-10:27

質疑応答10:27-10:33

微生物のソーストラッキング、重要管  
理点の把握

宇楊 再治

京都大学 助教

10:35-10:57

質疑応答10:57-11:03

対策技術の現状と課題、将来展望

範 鳳龍

京都大学 特定研究員

11:05-11:20

総合討論

11:20-12:30

ポスター前自由発表 [ポスター掲示会場(ホールホワイエ)]

## 第4セッション 流域圏における社会の営み ～みんなで海を食べる。～

12:30-12:35

趣旨説明

浅利 美鈴

総合地球環境学研究所 副所長/教授

12:35-12:57

質疑応答12:57-13:03

人:海の恵みを持続可能に食べるために

佐々木ひろこ

Chefs for the Blue 代表

13:05-13:27

質疑応答13:27-13:33

プラ:魚も人も食べないで

小蓑 雅也

日本財団海洋事業部(香川事務所) シア・オフィサー  
瀬戸内オーシャンズ X 推進協議会事務局 アドバイザー

13:35-13:57

質疑応答13:57-14:03

魚:きれいな海と豊かな海のあいだで

吉江 直樹

愛媛大学 先端研究院 先端研究高度支  
援室 准教授/URA

14:05-14:20

総合討論

14:30-15:00

表彰式・閉会式